

## 令和2年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	1	質問者	東 出 善 幸	発言	答弁を求
質 問 事 項			質 問 の 要 旨	時間	める者
1	新型コロナウイルス感染症に係る対応について		<p>新型コロナウイルス感染症が世界各国で発生しており、日本においても連日感染者が発生しております。特に北海道は一番感染者が多く、外出の自粛要請、イベント等の中止・延期、臨時休校を行っていますが、感染拡大のリスクは払しょくされていません。そこで以下について質問します。</p> <p>(1) 町民、特に高齢者や子育て世帯は不安に思っています。マスク着用や手洗いの徹底を求めています。品薄の状態です。町長は不安解消や感染流入にどのような対策を考えているか。伺います。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症は、今後終息に向かうのか、拡大するのか見えない中、今後、JRのラストラン、開基140周年記念事業等の開催が予定されていますが、開催の是非について基本的な考えをお伺いします。</p> <p>(3) 小中学校の休校に伴い、学童保育所や花の里こども園を開所したことに保護者は安心しています。今後感染が拡大となれば、子どもたちも新型コロナウイルスに感染するリスクが高まります。感染となれば欠勤が余儀なくされる世帯も出てくると思われ。国において助成金等を公表しましたが、上限額や対象世帯は決まっております。対象外世帯や困窮世帯に対し支援策についてどのように考えているか。伺います。</p>		町 長

## 令和2年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	2	質問者	我 妻 耕	発言	答弁を求
質問事項		質問の要旨		時間	める者
1	月形高校への取組みの検証、実施について		<p>多くの町民の母校である月形高校について、令和元年度の教育行政執行方針でも、その存続を地域活性化のための重要課題としている。令和2年度の志願者が前年より30%減の14名でいよいよ20名を下回った。前年の執行方針からの課題などにつき、その検証とそれを踏まえた令和2年度の取組みについて伺いたい。</p> <p>(1) 近年一貫して減少する志願者に対して、月形町も様々な対策を講じている。令和2年度も取組みの強化を挙げているが、何名の志願者を目標として、元年度の取組みの検証とそれをもとに2年度の新しい対策はどういったものであるのか。</p> <p>(2) 高校は義務教育ではなく選択される存在であり、また人生の通過点でもある。その役割のひとつとして次の進学、就職に高校としてどうつながっているのかが問われる。実績、対策など中学生に、父兄に選ばれる高校として、何を実施しアピールしたのかその検証と、2年度は何を実施、アピールするのか。</p> <p>(3) 「地域連携特例校」による存続を図ると言及されているが、地域連携特例校はどういうものであって、現在の月高の形態との違いはどうなるのか。生徒の社会性の醸成や部活動など高校にはある程度の規模が求められると考えられるが、どうなるのか。</p>		教育長

<p>2 それぞれの地域のコミュニティ機能維持への取組みについて</p>	<p>現在、札沼線廃線に伴うバスターミナルを中心とした公共施設といった地域拠点の整備事業が進んでいる。審議会による検討、答申を経て、町政執行方針にもあるように、最終的な月形町の方針が示されるまで来ている。月形町中心部で考えても、人口減や施設の老朽化など諸課題を考えると待ったがない。</p> <p>しかし、月形には各地域が存在し、コミュニティを維持している。農村地域の住民は「それではわが地域はどうなるのか」と不安も感じている。コミュニティ崩壊の危機は、中心部に劣らず農村部も喫緊の課題である。月形町の中心街の整備が進みつつあるなか、今後の他地域の整備についても発信をする必要性が高まりつつあると考える。中心街の拠点施設整備の先にどのような取組みを考えているのか、考えを伺いたい。</p> <p>(1) 農村地域のコミュニティ機能を守るためにどのような対策を講じるのか。</p> <p>(2) 「小さな拠点づくり」など地域拠点施設整備の先の取組みは検討されるのか。</p>		<p>町 長</p>
--------------------------------------	--	--	------------

## 令和2年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	3	質問者	楠 順 一	発言	答弁を求
質問事項		質問の要旨		時間	める者
1	各種計画、審議会等における町民意向の把握と共通する課題の整理について	<p>現在、本町においては以下の3つの計画策定が進行している。</p> <p>「第4次総合振興計画（後期）」  「第2期月形町創生総合戦略」  「月形町地域拠点施設整備」</p> <p>これらに伴いそれぞれ  「月形町未来を考える委員会」  「月形町総合戦略審議会」  「月形町地域拠点施設整備等審議会」</p> <p>において町民の意向を反映するべく熱心な協議検討のうえ答申されている。</p> <p>これらに関しては「まちづくりアンケート」も含め、しっかり町民の意向が反映されているように感じるとともに、3つの計画において共通する町政上の課題が浮き彫りになっているように思う。そこで以下の2点について問いたい。</p> <p>（1）町政執行上、それぞれの計画策定の必要性については充分理解するが、町民には「どこに町政の力点があるのか分かりづらい。」とか、「計画は立派だけど成果が見えない。」との声もあると聞く。</p> <p>まして財源もマンパワーも限られている中で、資源投入の分散化により政策効果が現れにくく、町民の中の停滞感を一層助長する恐れがある。</p> <p>そこで上記の各計画や審議会の答申内容、アンケート結果に共通する課題を優先順位により絞込み、例えば 「アクションプラン」のような形で、時系列的な実行年限を明示し</p>			町 長

	<p>て町民に提示することができないか伺いたい。</p> <p>(2) その場合、例え振興計画に伴う「まちづくりアンケート」31ページにある「満足度偏差値と重要度偏差値」における「改善の優先順」が政策課題の絞込みの参考になると思われるが、伺いたい。</p>		
<p>2 拠点施設における商業振興の取組みについて</p>	<p>前段の質問(2)で示した「まちづくりアンケート」の「改善の優先順位」の中で「路線バスの状況」と「商業振興の状況」が上位3項目の重要な位置にあり、拠点施設の整備はこの具現化の絶好の機会と考える。</p> <p>「月形町地域拠点施設整備」の答申において拠点施設整備のコンセプトを『集い・憩い・交流』としている。</p> <p>『集う』ための移動手段である路線バスについては4月からの代替バスの運行状況の推移を見守る必要があるが、『憩い・交流』において商業振興の役割が大きいと考えるが、答申には「町と関係機関が別途協議することが望ましい。」とあるが、町としてどのように取り組む考えか伺いたい。</p>		<p>町長</p>

## 令和2年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	4	質問者	松田 順一	発言 時間	答弁を求 める者
質問事項		質問の要旨			
1	プログラミング教育 について	<p>新学習指導要領で、プログラミング教育は2020年より小学校から、2021年より中学校で必修化される。しかし、実際のところプログラミング教育はどのように学習するのか知らないのが実情である。そこで次の3点について伺いたい。</p> <p>(1) プログラミング教育の目的とは</p> <p>(2) プログラミング教育必修化の理由</p> <p>(3) 月形小・中学校の現況について</p>			教育長

## 令和2年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	5	質問者	宮下 裕美子	発言	答弁を求
質問事項		質問の要旨		時間	める者
1	子育て支援におけるセーフティネットの構築について	<p>子育て支援は各種計画の重要施策に掲げられていることから、令和2年度は「子育て家庭の経済的負担をより一層軽減する」という執行方針に従って、各種無償化を含む補助金・補助要件の拡充が予算化された。</p> <p>経済的負担の軽減は保護者が求める施策の1つではあるものの、自治体の目的である「住民福祉の向上」に照らせば、セーフティネットの構築にも力を入れる必要があるのではないかと。特に今回の新型コロナウイルス感染症や一昨年のブラックアウトのような緊急対応が求められる場面が頻発する環境の変化と、諸事情により親族等による協力が得にくい世帯や共働き世帯が多くを占める状況の変化などから、より一層必要性が増すと考えられる。</p> <p>令和3年度からの「子育て世代包括支援センター」設置によって相談体制の充実が図られるが、受け皿の1つである学童保育の機能強化やファミリーサポート事業の新設も必要ではないのか。</p> <p>町長の考えを伺いたい。</p>			町長
2	地域拠点施設整備の今後の展開について	<p>地域拠点施設整備は、町長公約と関連して平成30年度から取り組まれ、この2月には審議会から「整備コンセプト／整備地／主要機能」が盛り込まれた答申が示された。一方で令和2年度町政執行方針には「関係機関や町民の意見を聞いて最終的に町の方針を定める」とあり、今後の展開が見通せない。</p>			町長

	<p>この地域拠点施設整備にはこれまで行政に関わりの薄かった町民も参加し、関心を寄せている（例：審議会委員や候補地住民、他）。ここで曖昧な状態が続けば、せっかく育まれた「まちづくり」への関心を削いでしまいかねない。今後の展開見通し（スケジュール等）を示すことは重要である。</p> <p>町長は今後、地域拠点施設整備をどのようなスケジュールで展開する考えなのか、伺いたい。</p>		
3 新型コロナウイルス感染症対策（情報の伝達方法と内容）について	<p>2月後半から急展開した新型コロナウイルス感染症に対して、担当部署である保健福祉課や、急な臨時休校に対応した教育委員会をはじめ、全庁体制で取り組まれていることに感謝する。</p> <p>いまだ収束が見えず長期化が予想される中で、今後は具体的できめ細やかな情報伝達が求められると考える。以下の部分の改善や対応を求めたい。</p> <p>(1) 役場発信情報の集約化と見える化（ホームページトップ「緊急情報」の活用）</p> <p>(2) 保健衛生的対応策の指示や紹介（用品不足の代替案含む）</p> <p>(3) 対象者別（年齢別等）の行動規範の提示</p> <p>(4) 行動自粛時に活用できる情報やアイデアの提供</p> <p>(5) 国等からの損害補てん・補償等の情報提供など</p>		町 長
4 学校教育における「国際理解力の育成」について	<p>令和2年度教育行政執行方針では4月からの小学校の英語教科化やオリンピック・パラリンピックの日本開催に触れ、幼少期から生徒にいたるまでの「国際理解力の育成」「国際社会の理解」などを目標に掲げている。これからの社会を生きる子ども達にとってとても重要な視点と能力であり共感する。</p> <p>現状では英語力を身につけ伸ばすことに重点を</p>		教育長

	<p>置いているが、英語力は国際理解力を身につけるための1つの道具なので、その先にある多文化共生や人権尊重などの世界で通用する真の「国際理解力の育成」を目指して取り組んではどうか。オリンピック・パラリンピックが開催される今年だからできることもあるだろうし、日常生活の意識変化で「生きる力」が育まれることもと考えられる。</p> <p>教育長の見解を伺いたい。</p>		
--	---	--	--